

上田仮説サークルニュース		12月例会	2020.12号
編集責任 遠藤 裕		発行2021.1.23	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サンガーデン中野B-G		TEL0269-23-2847	携帯090-1406-9115
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp		勤務先 中野西高校	TEL0269-22-7611

12月19日（土） 上田市中央公民館 第二・第三会議室  
午後3:00～7:30



参加者数名 8名  
資料総ページ 31 ペ

<参加者> 高見沢一男さん、増田伸夫さん、北村秀夫さん、北村知子さん、田中浩寿さん、池田みち子さん、柳沢克央さん、遠藤裕

**はじめに** 12月例会の参加者は8名。

12月例会は、先月に引き続き上田市中央公民館で開催し、充実した例会になりました。発表は、増田さん1本、田中さん1本、柳沢さん6本（内2本はプロジェクターでの発表、1本は各社新聞記事の紹介）です。

増田さんはシュンペーター著『帝国主義と社会階級』の要約第4弾。「近代帝国主義は資本主義に内在するものではなく、その源流は君主国家にある。」、そして帝国主義は衰滅するだろうという内容で、かなり難解な本です。

田中さんは、大学のテキストに載っているコラム「ナイチンゲールと統計学」を紹介。ナイチンゲールは博愛の看護師というイメージが強いですが、統計学を駆使して看護や社会改革、政治をも動かした、ということです。

柳沢さんからはいろいろな発表がありました。長谷川智子さんとの研究の様子をビデオで紹介。ビートたけし著『弔辞』をパワーポイントで紹介。また、生徒のキャリア支援方向づけ洗い直しが急務という「キャリア問題提起要旨」。「進路室だより」の紹介、朝日新聞記事「教育、学びの「最適化」自ら選ぼう」をはじめ各社の新聞記事の紹介。

高見沢さんはジャイロコマを使ったおもちゃを紹介してくれました。高見沢さんの手作り、ジャイロ効果を楽しむことができます。

北村秀夫さんは、杉山亮から教えていただいたというゲームを3種類紹介してくれました。実際に参加者で体験し大変盛り上がりしました。

北村知子さんは、もの作り「クリスマスツリー」を準備し、実際に参加者で作りました。マツボックリを使ったもので、可愛らしいきれいなツリーができました。机の上に飾るのに最適です。準備をありがとうございました。

池田さんからは、これからの上田仮説サークルの方向性についての提案がありました。この会場を使用するにあたり、社会教育という側面もあるので一般向けに「読書会」や「もの作り」を定期的に企画したらどうかというものです。会員の皆さんのご検討をよろしくお願いいたします。池田さんには会場の予約などいつもお手数をおかけしており、感謝申し上げます。

今回もサークルとしての夕食会は行いませんでした。

## <本の出版>

渡辺規夫さん出版の本の紹介	
『板倉聖宣さん・上廻昭さんに聞く 仮説実験授業の誕生 仮説実験授業成立史資料集 1』	上田仮説出版
-----	
『渡辺規夫講演 科学史研究と仮説実験授業』	上田仮説出版
板倉さんは何のために科学史を研究したのか	
『日本科学史学会シンポジウム 科学史研究と教育』	上田仮説出版
『寛容の思想の成立と発展 第10集 牧衷』	上田仮説出版
『日本科学史学会シンポジウム 板倉聖宣の科学史研究と仮説実験授業』	上田仮説出版

柳沢克央さん出版の本の紹介	
『竹内三郎 仮説実験授業の将来展望』	信州・ふたつやなぎ書房
－「長谷川帽」と「偏見を抑圧しない組織」－	

### 1. 発表資料

#### ① サークルニュース 11月例会 遠藤 裕 (11ペ)

##### 1. 発表資料

- ① サークルニュース 10月例会 遠藤 裕 (9ペ)
- ② 「遠山さんと私 ― 水道方式と仮説実験授業」紹介その2(7月例会の続き)  
板倉聖宣『数量的な見方考え方 ～数学教育を根底から変える視点』(仮説社)より  
田中浩寿さん (2ペ)
- ③ アンケート(小諸高校) 高見沢一男さん (2ペ)
- ④ ハンドスピナーで遊ぼう 高見沢一男さん (2ペ)
- ⑤ シュンペーター『帝国主義と社会階級』(都留重人訳 岩波書店)の要約(3)  
増田伸夫さん(24ペ)
- ⑥ 紹介: 日経「思いつき排し基本を学べ」 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑦ 紹介: 信毎セミナー 菅政権は「短命の可能性」 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑧ 紹介: 教育, 学びの「最適化」自ら選ぼう 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑨ 立川談志組織論 柳沢克央さん (ペ)
- ⑩ 新聞記事の紹介 柳沢克央さん

#### ② シュンペーター『帝国主義と社会階級』(都留重人訳 岩波書店)の要約(4)

増田伸夫さん(20ペ)

増田さんの予想をしながら読む<本の要約>第4弾。

前回の『帝国主義と社会階級』の要約（3）の要約は、

#### 第四章：近代絶対君主制下における帝国主義

- ①ルイ14世の絶対主義国家＝武力闘争を通じて発現した一つの戦争機械→農民・勤労大衆・都市の中産階級・教会を支配し、貴族を宮廷に閉じ込めた上で貴族の内乱を避けるために外国と戦争
- ②独裁国（ルイ14世やエカチェリーナ2世）の戦争政策も利益が問題ではない：伝統的闘争習慣と戦争機構の存在で説明可能

#### 第五章：帝国主義と資本主義（途中まで）

- ①諸帝国主義は社会学上単一の現象で隔世遺伝的：現在（第一次大戦時）の帝国主義的傾向は、絶対君主国から受け継いだもの
- ②資本主義における新しい社会階級（ブルジョアジー／労働者階級／知識階級＝新中産階級＝専門家／金利生活者）の出現が現代文化の根本的特徴（民主化、個人主義化、合理化）を発現
- ③純粋に資本主義的な土壌の上には帝国主義的衝動は育ちにくい＝資本主義社会の民衆は本質的には非好戦的・反帝国主義的

#### 『帝国主義と社会階級』の要約（4）の要約

#### 第五章：帝国主義と資本主義

- ⑧帝国主義政策に関する経済的利害関係は資本主義に内在するものではない（それは非資本主義または前資本主義にこそ内在）
- ⑨自由貿易の下ではどの階級も武力的領土拡張に関心をもたない：どの国も原料や食糧を自国領土内と同じように入手できるから→自国民と他国民との間に利害関係の対立は存在しえない
- ⑩保護主義の精神がすでに存在しているために、保護主義が一般化する：保護主義は資本主義経済の本質的特徴ではない：関税障壁があるだけならば利害関係は自由貿易下とはほぼ変わらない
- ⑪保護政策は独占・寡占を助長し、さらにダンピング（強制輸出）が始まると国家間対立が激しくなり、戦争に対する強い経済的関心が起こってくる→だが、それを過大評価してはならぬ：根底では正常な産業通商の考が支配する
- ⑫輸出独占主義は資本主義発展の内在的法則から生まれ出たものではない（輸出独占主義も君主国家に源をもつ）
- ⑬関税は君主国の財政目的から生まれたもの＝関税は君主が商人を搾取する方法の一つ
- ⑭ブルジョアジーと貴族←ともに君主国によって形造られた：ブルジョアジーは、本質的には非資本主義的な（ないしは資本主義前の）環境の要請と利益（＝君主国家）によって形造られていったし、貴族もまた君主国家に形造られて近代世界に登場した
- ⑮現代のナショナリズムと軍国主義＝どちらも資本主義によってつくられたものではな

い=いずれも君主国家の中から生まれ出たもの→しかしながら、ブルジョア精神の分裂性のゆえ、ブルジョアはナショナリズムや軍国主義の方向に押しやられる⇒資本主義はその作用の中にナショナリズムや軍国主義を包含し、かくしてそれらのものを政治的にも経済的にも存続させる

⑯近代帝国主義の歴史的ならびに社会学的源流＝君主国家(結論①)：近代帝国主義は、ナショナリズムや軍国主義ともちつもたれつとの関係にあり、輸出独占主義もまた君主国家に源をもつ

⑰輸出独占主義＋戦争機構の継承⇒帝国主義(結論②) (好戦的な階級が支配的地位を保持しつづけ、さらにはブルジョアジーの中の好戦的な連中とも提携したことで闘争本能を存続させた)

⑱「死せるもの、常に生けるものを動かす」(予言)：輸出独占主義が死滅し、さらには好戦本能や戦争向きの構造的要素・組織形態が死滅するとともに帝国主義も衰滅するだろう

最後に、シュンペーターの帝国主義論をヒトコトで言えば、

「近代帝国主義は資本主義に内在するものではなく、その源流は君主国家にあるのであり、輸出独占主義が前時代から継承された戦争機構と結びついたことで帝国主義へと発展したものだ。好戦本能や戦争向きの構造的要素・組織形態が死滅するとともに帝国主義も衰滅するだろう」となる。

### ③ 長谷川智子さんとの研究 柳沢克央さん

長谷川智子さんと3人で会議をしているビデオの紹介。

### ④ 紹介 ビートたけし著 『弔辞』 柳沢克央さん

パワーポイントによる紹介。

紀伊國屋書店のホームページより概要の紹介。

(<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784065215159>)

ビートたけし著『弔辞』 価格 ¥999 (本体¥909) 講談社 (2020/12発売)

#### <内容説明>

芸論から人生論・世界観まで—この年になって、今、俺が考えていること。ビートたけし「自分への生前弔辞」

#### <目次>

第1章 あのことろのテレビ (テレビに始まりコロナで変わる—漫才と芸人について；

『全員集合』を潰すための秘策—『ひょうきん族』と志村けんについて；さんまとタモ

リに関するホンネ—俺以外の「ビッグ3」について；俺が考えた史上最悪の企画を語ろう—黄金期のテレビ番組について；有料化以外に生き残る道はない—テレビ番組の末路について)

**第2章** 人間ってやつは (いくつになっても忘れない母親の教え—カネと貧乏について；ささやかな幸せがあれば、なんとか生きていける—ありし日の家族について；学生運動で思い知った「親の情」と「人間の限界」—学生活動家について；「人間って結局わりと平等なんじゃないか」説—人生の平等・不平等について；働くことに理由なんて要るのか？—労働と仕事について)

**第3章** お笑いの哲学 (芸人にとって最強の武器とは何か—たけし本気の芸論1；「人間は欠陥品だ。だから笑うんだ」という深い話—たけし本気の芸論2；エンターテインメントには寿命がある—たけし本気の芸論3；「師匠と弟子」って面倒だけど、そこまで悪くないぜ—たけし本気の芸論4；自分の過去の芸にこだわってはいけない—たけし本気の芸論5)

**第4章** さよなら古い世界 (政治に何かを期待するほうが間違っている—永田町と安倍政権について；トランプが負けても支持される理由—歪んだアメリカについて；科学と神様と人間の三角関係—テクノロジーについて；誰もが気づかない「システム」の恐ろしさ—欠陥だらけの資本主義について；ビートたけしはつまらなくなったのか？—芸人ビートたけしについて)

## <著者等紹介>

ビートたけし [ビートタケシ]

北野武。1947年東京都足立区生まれ。浅草フランス座で芸人としてデビュー後、1972年に漫才コンビ「ツービート」を結成、人間の「建前と本音」「理想と現実」の落差を舌鋒鋭く突きまくる芸風で漫才ブームの牽引役となる。テレビに進出後、『オレたちひょうきん族』『天才・たけしの元気が出るテレビ!!』の人気番組を次々と手掛ける。映画監督としても『その男、凶暴につき』『ソナチネ』『HABA-BI』などの話題作を多数世に送り出す。2016年にレジオン・ドヌール勲章、2018年には旭日小綬章を受章。近年は小説執筆にも力を入れている (本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

※書籍に掲載されている著者及び編者、訳者、監修者、イラストレーターなどの紹介情報です。

## <出版社内容情報>

サヨナラの前に

言いたいことを言っておくよ。

テレビも、お笑いも、家族も、テクノロジーも、  
これからの時代、いろんなものが大きく変わっていくだろう。

いろんなものが消え失せて、少しずつ忘れ去られていくだろう。  
だけど、忘れちゃいけないものもある。きっと、あるはずだ。

俺は、この時代に向けて、弔辞を読もうと思った。

たとえ、消える運命にあるものでも、俺自身が生きているうちに語っておこうと考えた。  
まもなく、ひっそりとなくなっていく物事や事物に対して、誰かが言っておかなくちゃ  
ならない、覚えていてほしいって思うからだ。

まだ死んでいない、滅んではいけないものもあるけれど、そういうものに対しては、生前  
に捧げる「生前弔辞」だと思ってほしい。

## ⑤ 職員会議キャリア問題提起要旨 柳沢克央さん（2ペ）

職員会での「キャリア支援」の問題提起の要旨。

<イントラネット掲載文より> 2020/12/17new

職員会議キャリア問題提起要旨再録（文責・柳沢克央）

昨日の問題提起と背景の現状分析を一部加筆して再録します。ご参考になれば幸いです。

**主旨：三者懇談会での「生徒のキャリア支援方向づけ洗い直しが急務」**

・本年2月からの新型感染症拡大により、昨年12月までの三者懇談とは全く社会環境が変わってしまった。これを受け容れて戦略を練り直す必要が生じている。落ち着くまで2年以上必要との専門家の意見多数。（NHKサイトによる）

・しかし、無用に浮き足立つことなく、全学年で冷静に生徒一人ひとりの将来設計に寄り添う懇談会を実現し、大きなみのりを目指したい。

・具体的に（高3生の場合…大学進学希望者対象）（他学年…各学年の段階に応じて要アレンジ）（大学以外の進路…各進路に応じて要アレンジ）

・都会か、地方か、地元か

・国公立か、私立か

・対面か、ハイブリッドか、オンラインか

・奨学金を借りるか、アルバイトはできるか、各家庭の経済状況（踏み込みは禁物だが、考慮する必要あり）

・大学卒業後の社会環境は現状から一変しているであろうが、予測は困難

・大学入学直後から就活開始、企業インターン制常識化、オンライン面接常識化

・学歴の無意味化へ

・真の実力が問われる「戦国時代」到来へ

・高度専門職養成という時代の要請

・すべての学問は理系化する（データ・サイエンスの必須化）

・なぜ学ぶのか、大学で何を学び「どういう私になりたいか」を、日々見直して、アップ

デートするべく、学び続けなければならない

- ・ 必妻に応じて具体的・現実的で実現可能な複数の選択肢を提示し説明できる準備
- ・ たとえば、千葉大学と横浜国大の理工系学部の特徴を説明できるか  
<https://www.youtube.com/watch?v=biQohBCxpXw>
- ・ たとえば、工学部の概要について4～5分程度で説明できるか  
<https://www.youtube.com/watch?v=cNAsfk7h3YA>
- ・ 保護者向け動画「進路で子どもが悩んでいるとき、どうしたらよいか」  
<https://www.youtube.com/watch?v=X0vlgtdoutg>
- ・ 変わった名前の学部名80連発  
<https://www.youtube.com/watch?v=UeRvWvEWWpY>
- ・ 最終的には生徒本人に決断させる姿勢（エンカレッジメント・エンパワーメント環境整備が大人の使命）
- ・ 「まことに日に新た、日々に新た、また日に新たなり」(『大学』中国古典)以上、インターネット掲載文

## ⑥ 紹介 進路室だより 柳沢克央さん (7ペ)

高校の「進路室だより」の紹介。

キャリア教育系の発行 (R2.11.27)。「入試に向けて」のタイトルで、受験までの心構え、受験情報などが掲載されています。この時期受験生に伝えておきたい内容です。

- ・ 大学入学共通テストについて
- ・ 先輩から後輩へ「センター試験の感想」
- ・ 私大・短大受験について
- ・ 個別試験
- ・ 健康管理の基本 1. 食事 2. 睡眠 3. 生活リズム

## ⑦ 今受講中の『社会調査の基礎』Text (弘文堂) より 田中浩寿さん (1ペ)

コラム「ナイチンゲールと統計学」(P208) 紹介

田中さんが大学の授業で使用しているテキストからの紹介。

後期の授業に「社会調査の基礎」という科目があり、厳密には「社会福祉調査」とでも言うべきですが、社会福祉に係わる調査のあり方に関する講義で、社会福祉士国家試験にも全150問中7問程度出題されます。

この講座担当の三本松政之教授は、この春に立教大学からおいでた先生で、福祉社会学と社会福祉学が専門の博士です。このTextが上記の本ですが、そこにナイチンゲールについてのコラムがあったので、柳沢克央先生が付属中生に「ナイチンゲール」(社会の発明

発見物語)の要約を自習で課したとのことに関連して、紹介します。

コラムには、博愛の看護師というイメージのナイチンゲールについて、統計学者としての側面が紹介されています。「看護や社会改革のために統計学を駆使し世の中に訴え、そして政治をも動かしたのがナイチンゲールだった。」とのこと。

## ⑧ 紹介：教育、学びの「最適化」自ら選ぼう 柳沢克央さん (1ペ)

朝日新聞2020.10.6(火)の教育面の記事の紹介。

インタビューに答えているのは那須正裕氏(上智大・総合人間科学部教授)。

## ⑨ 新聞記事の紹介 柳沢克央さん

各社新聞記事の紹介。

日本経済新聞 2020.6.24() 春秋

信濃毎日新聞 2020.8.23(日) DX日米格差は教育の差異

朝日新聞 2020.9.26(土) 読書：還暦からの底力 歴史・人・旅に学ぶ生き方

### <池田みち子さんからの提案>

上田市中央公民館をサークル活動で利用するにあたっては、社会教育という側面もあるとのこと。そこで、一般の参加者に向けて「読書会」や「もの作り」などを定期的に企画したらどうかという提案がありました。まずは「折り染め」をサークル内で体験し、一般参加者向けに体験講座を行う。最初は無理をせず、年に1回から2回を目標。材料費は参加者から徴収する。参加者の募集は、公民館の広報に案内を掲載してもらう。

## 2. 体験授業・講座

### <体験授業> 北村秀夫さん

杉山亮さんに教えていただいたというゲームの紹介。ホームルームや授業で楽しめます。

- ・俳句ゲーム 最初の一文字を決め俳句を作る
- ・連想ゲーム ある言葉で連想し、得点を競う  
例 「雪」といえば…うさぎ、スキー、スケート…同じ言葉を連想した人の人数を得点とする(?)
- ・数字ゲーム 7人くらいの場合、1～5の数字で一番小さい数字を選んだ人が勝ち(40人だと21くらい)

まだ色々なゲームがあるようです。レポートにまとめていただけると、ちょっとした集まりなどのときに楽しめると思います。

## <体験講座> ジャイロコマ 高見沢一男さん

ジャイロコマを使ったおもちゃの紹介。ジャイロ効果がよくわかります。



## <もの作り> クリスマスツリー 北村知子さん

マツボックリを使って、クリスマスツリーを参加者で作りました。マツボックリは緑色に色をつけてあり、装飾用の小さなビースを木工用ボンドで飾り付けました。これを木の台にボンドで取り付けて完成。とてもきれいなクリスマスツリーです。



**あとがき** 師走になり、何かとあわただしい日が続いています。先月は3月以来2回目の中央公民館での例会でしたが、特に問題もなくできたのでホッとしております。



職場では、先日2学年で探究の時間に中間発表会を行いました。学年全体で5グループに分かれており、代表者がグーグルクラスルームを使ったオンラインで発表しました。LHRと合わせ2時間続き。発表者以外は教室でプロジェクターからの映像を見てメモを取ったりしながら発表を聴いていました。1年生の各教室にも配信。探究の時間を担当していて、どうしても調べ学習の域をでないなと感じます。これから3月の最終発表会に向け、自分たちの考えをまとめていくにはどうすれば良いか、いろいろと検討しています。

来年が良い年でありますように、またコロナが終息することを願っています。 (エンドウ)

★ 今後の予定 ★  
2月27日(土)  
3月20日(土)  
4月24日(土)